

栃木医療センター

新専門医制度

内科・総合診療 後期研修プログラム

2016/3/25 作成
2025/6/1 改訂

国立病院機構 栃木医療センター



- 場所：栃木県宇都宮市
- 病床数：350床 7病棟
- 26診療科/医師数 約80名
- 二次救急医療機関/在宅療養
後方支援病院
- 年間救急車搬送数：約5000台
- 2次医療圏：宇都宮医療圏
- 宇都宮市人口：51万3257人
- 栃木県全体：187万6308人
- 2014年9月 新病棟に移転



敷地面積75,781m²

診療科としてのミッション/ビジョン

①地域医療への貢献（救急や紹介の受入）

- ・ 紹介患者や入院患者依頼の応需
- ・ 病院から要望された入院患者数（128床）確保
- ・ 地域包括ケア病棟の運用

②専攻医教育

- ・ 教育チームでの安全な教育体制確立
- ・ 教育コアコンピテンシーを意識しPG修了目標
- ・ バーンアウト予防/ゼロ目標

2024年度総合内科入院患者 ～疾患頻度～

①. 肺炎/誤嚥	112	⑥. 大腿骨骨折	42
②. COVID-19	112	⑦. 結腸憩室症	40
③. 脳梗塞	82	⑧. 大腸腺腫	38
④. 心不全	77	⑨. 腰椎圧迫骨折	32
⑤. 尿路感染症	69	⑩. 2型糖尿病	31

※重複あり

2024年度総合診療科入院患者 ～レアな疾患～

- 感染性心内膜炎
- 腎血管筋脂肪腫破裂
- Garcin症候群
- コリン作動性クリーゼ
- Ball valve症候群
- 後腹膜線維症
- サルモネラ菌血症
- 先端肥大症
- Torsade de pointes(TdP)
- Wernicke脳症
- 吸収不良症候群
- 小腸アニサキス
- 腫瘍崩壊症候群
- 頸髄引き抜き損傷
- 銅欠乏症
- 腫瘤形成性膵炎
- レジオネラ肺炎（抗原陰性）
- 好酸球性肺炎
- 体位性頻拍症候群
- Vanek腫瘍
- 肺膿瘍・胸腔内破裂
- 薬剤性ミオクローヌス
- 気腫性腎盂腎炎
- ベラパミル感受性心室頻拍
- 壊疽性膿皮症
- TMA症候群
- ANCA関連血管炎
- 慢性サリチル酸中毒

急性期診療チームの基本体制

～総合＋専門～

総合内
科

循環器
内科

消化器
内科

膠原病
内科



後期研修
医 1 年目

後期研修
医 2 年目

後期研修
医 3 年目

栃木医療センターで運用中の 後期研修医プログラムと専攻医数 (R7.4.1現在)

基幹 内科専門医プログラム 0名*

連携 内科専門医プログラム 2名

基幹 総合診療専門医プログラム 5名

連携 総合診療専門医プログラム 1名

* 内科プログラムは2026年度分より募集を再開します

内科全体の週間予定

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
8:15	朝カンファ (A/Bチーム)	全体カンファ（全体） ※4週のみ スタッフカンファ	朝カンファ (A/Bチーム)	総合内科 スタッフカンファ (総合内科スタッフ) ※第3週	朝カンファ (A/Bチーム)
午前	病棟・外来等	病棟・外来等	病棟・外来等	病棟・外来等	病棟・外来等
12:30		論文抄読会（全体）			
午後	病棟・外来等	病棟・外来等	病棟・外来等	病棟・外来等	プロテクトタイム (専攻医)
17:15					

主な業務



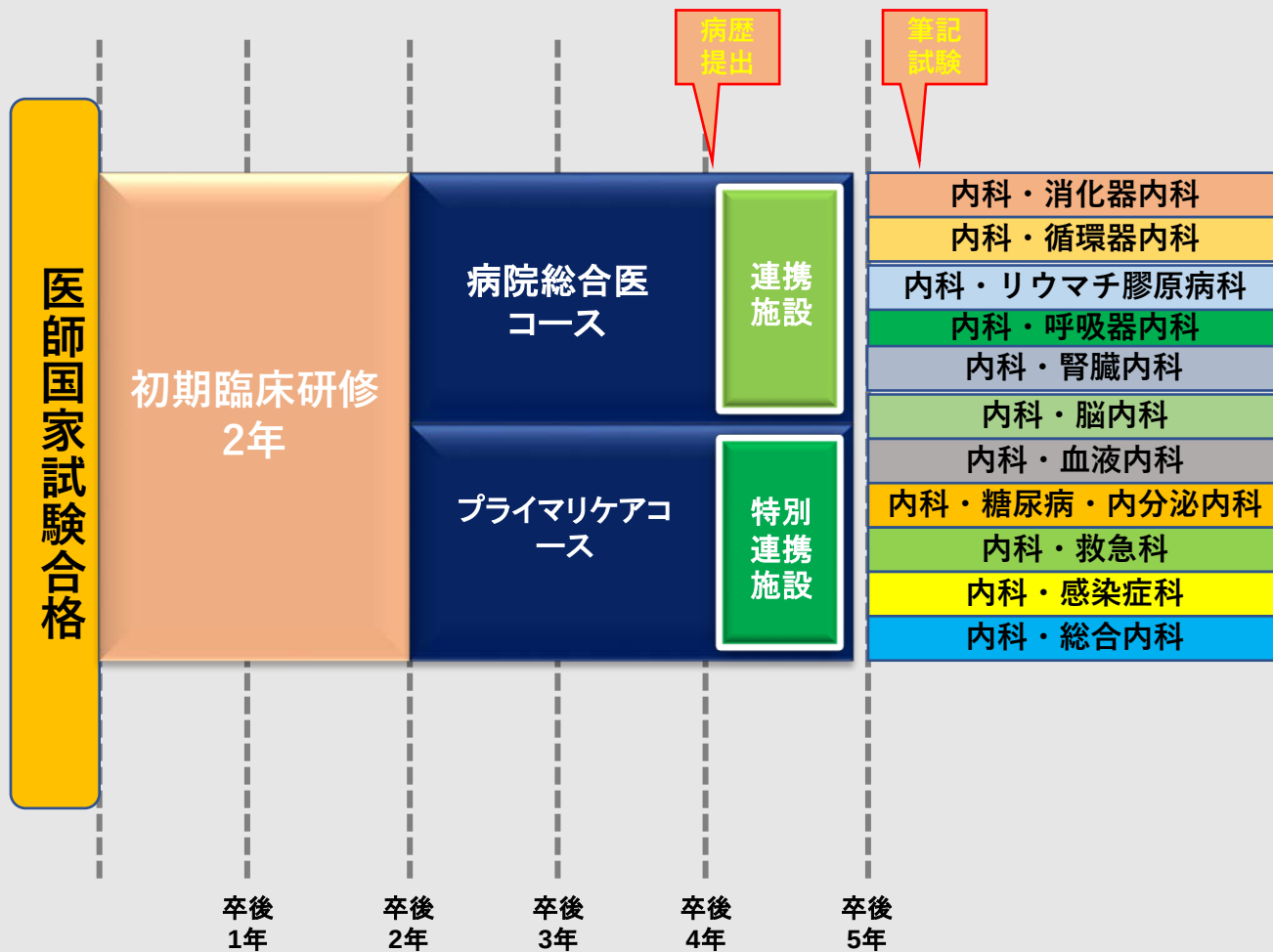
- **病棟診療** : 入院受け持ち患者9人前後
週平均2-3人入院
2年目以降は1人持ち
- **外来診療** : 週1回ずつ初診と再診
初診 5-10人前後、再診 5-10人程度
- **救急診療** : 週1回内科当番を担当
紹介患者等を担当
3年目以降は1人当番
- **当直診療** : 月3回程度/うち1回は輪番当直
1年目は指導医と2人体制

働き方改革・福利厚生



- 常勤待遇
- 給与：国立病院機構規定、ボーナス年2回
- 休日：週休2日/4週8休/祝日は休み
夏期休暇は前後土日を含めて9連休可
- 勤務時間：8:30-17:15
- 当直回数：3回/月、宿日直許可あり
- 当直明け：午前までは勤務で12:00帰宅
- 代償休息付与予定
- 時間外（実績）：80時間/月越えたのは年間で数人、
平均 48.1時間/月（22.2-65.3）

新専門医制度 内科専門医研修プログラム



栃木医療センター内科研修プログラム(概念図)

病院総合医コース

後期研修	病院総合医専門科重点コース
1年目	栃木医療センター内科（全科同時研修）
2年目	栃木医療センター内科（全科同時研修）
3年目	連携施設 （希望の内科専門科(Subspeciality)を中心に研修）

- 将来、病院総合医、内科専門科(Subspeciality)を目指す医師向けのコース
- 栃木医療センター2年間での研修で主担当医として少なくとも**45**疾患群、**80**症例以上の診療経験と内科専門医取得のための20病歴要約の提出をする
- 専攻医3年終了時に終了要件（主担当医として56疾患群以上、**120**症例以上）を満たす症例数を達成することを目標とする
- 研修状況によっては2年目に各専門科研修は可能
- 3年目の連携施設では各専門科(Subspeciality)の中で希望の科を研修
- 3年目は希望により「プライマリケアコース」との相互移動は可能

内科プログラム（病院総合医コース） サブスペコース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合内科研修 栃木医療センター内科研修											
2年目	総合内科研修 栃木医療センター内科研修											
3年目	連携施設にて専門研修						連携施設にて専門研修					

※3年目は通年も可能

※2年目の後半から他院研修に出て最後6か月戻るというローテーション研修もあります

プライマリケアコース

後期研修	プライマリケア重点コース	
1年目	栃木医療センター内科（全科同時研修）	
2年目	栃木医療センター内科（全科同時研修）	
3年目	特別連携施設A （地域連携・訪問診療）	特別連携施設B （地域連携・訪問診療）

- 将来、プライマリケア医、家庭医を目指す医師向けのコース
- 栃木医療センターでの2年間での研修で終了要件（主担当医として56疾患群以上、**120**症例以上）を満たす症例数を達成することを目標とする
- 内科専門医取得のための29病歴要約は2年目終了時点で提出
- 特別連携施設には栃木医療センターの指導医も非常勤で勤務しており、診療所の医師と共に研修の指導を行う（実績有り）
- 3年目は希望により「病院総合医コース」との相互移動は可能

内科プログラム（プライマリケアコース）

診療所連携コース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合内科研修 栃木医療センター内科研修											
2年目	総合内科研修 栃木医療センター内科研修											
3年目	宇都宮協立診療所（訪問診療・一般外来・有床） 生協ふたば診療所（訪問診療・一般外来） ひばりクリニック（訪問診療・一般外来・小児）						宇都宮協立診療所（訪問診療・一般外来・有床） 生協ふたば診療所（訪問診療・一般外来） ひばりクリニック（訪問診療・一般外来・小児）					

※3年目は通年も可能。

※2年目の後半から他院研修に出て最後6か月戻るというローテーション研修もあります

内科プログラム連携施設(2024年段階)

	病院	病床数	内科系 病床数	内科系診 療科数	内科系指 導医数	総合内科 専門医数	内科剖 検数
基幹施設	栃木医療センター	350	169	3	12	11	1
連携施設	済生会宇都宮病院	644	221	9	27	24	4
連携施設	上都賀総合病院	352	160	8	4	2	4
連携施設	獨協日光医療セン ター	199	120	8	12	8	5
連携施設	栃木県立がんセン ター	291	115	5	3	4	0
連携施設	洛和会丸太町病院	150	95	7	7	1	1
連携施設	多摩総合医療セン ター	789	283	12	47	50	30
連携施設	東京医療センター	640	218	11	39	33	1
連携施設	隠岐病院	115	59	3	0	0	0
特別連携施設	宇都宮協立診療所	19	19	1	0	0	0
特別連携施設	生協ふたば診療所	0	0	1	0	1	0
特別連携施設	ひばりクリニック	0	0	1	0	0	0
特別連携施設	村井クリニック	0	0	1	0	0	0
特別連携施設	隠岐島前病院	44	44	1	3	1	0
特別連携施設	西伊豆健育会病院	78	53	2	0	1	0
特別連携施設	名瀬徳洲会病院	289	124	4	1	1	0

新専門医制度 総合診療専門医研修プログラム

国立病院機構栃木医療センター 総合診療プログラム

専門医機構

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	【内科】 栃木医療センター内科[J-OSLER期間]									【小児科】 栃木医療センター 小児科		
2年目	【総合診療Ⅰ】 宇都宮協立診療所・生協ふたば診療所 ひばりクリニック						【総合診療Ⅱ】 獨協日光医療センター・利根中央病院 名瀬徳州会病院・県立宮古病院 健育会西伊豆病院					
3年目	【救急】 済生会宇都宮病院 救命センター			【総合診療Ⅱ】 栃木医療センター内科						【内科】 栃木医療センター内科 [J-OSLER期間]		

※2年目は前半後半はたすきがけになります

※宇都宮市内で研修中はワンデイバックがあります

※ローテーション研修は前後することがあります

※2年次のローテーション研修先は交渉が必要なので可能な限り9月までに決めましょう

総合診療専門研修Ⅰ 連携施設



■宇都宮協立診療所（総合診療Ⅰ）

有床の在宅療養支援診療所。総合診療専門研修指導医が複数名常勤している。小児から高齢者までの総合診療外来があり、在宅医療の症例も豊富である。医療生協の診療所として組合員の健康づくり活動が多彩に展開。後期研修医も何名もお世話になりOBOGもいる。矢吹・佐藤が非常勤。瀬山・池田が在籍



栃木保健医療生活協同組合

宇都宮協立診療所

■生協ふたば診療所（総合診療Ⅰ）

無床の在宅療養支援診療所である。総合診療専門研修指導医が常勤している。同一施設内に居宅介護事業所や地域包括支援センター、通所リハビリ施設があり、幅広い地域医療や地域包括ケアの研修が可能である。在宅医療の症例も豊富である。当院OB医師勤務。



栃木保健医療生活協同組合

生協ふたば診療所

■ひばりクリニック（総合診療Ⅰ）

無床の在宅療養支援診療所である。総合診療専門研修指導医が常勤している。自治医大卒の小児分野での在宅医療症例が豊富である。併設する小児在宅療養患者の日中デイケア施設の取り組みが特徴。後期研修医の受入実績あり。杉山在籍



■日光市民病院（僻地・総合診療Ⅰ）

栃木県日光市の地域医療振興協会の市民病院。病床数100床で、老健50床も院内併設されている。日光市立奥日光診療所や小来川診療所も関連している。松村出向予定



総合診療専門研修 連携施設②

■ 獨協日光医療センター（僻地・総合診療Ⅱ）

日光市に位置する大学病院所属の急性期病院。病床数は199床と少なめだが循環器診療に力を入れている。当院からは高速を利用して30-40分程度



■ 利根中央病院（僻地・総合診療Ⅱ）

群馬県沼田市にある253床の急性期病院。指導医層が充実しており、家庭医療専門医が複数在籍している。季節性もあり、冬期はウィンタースポーツ外傷なども多く、ドクターヘリなどの運用も行っている

2022年度・2023年度に専攻医派遣あり



僻地の急性期病院！

内科専門研修 連携施設③

■ 県立宮古病院（僻地・総合診療Ⅱ）

沖縄県宮古島にある276床の中規模県立病院。沖縄の離島で基本的には様々な疾患全てを担当する。訪問診療も同時に経験できる。現在鵜山先生赴任中



■ 健育会西伊豆病院（僻地・総合診療Ⅱ）

静岡県西伊豆町に位置する78床の中規模病院。院長の仲田先生はプライマリケアの領域でもカリスマ整形外科医として有名で、トップジャーナルを読んで内科を学んでいる脅威の整形外科医。幅広くどんな領域もカバー。過去に川口・平野が赴任。現在大阿久先生赴任中



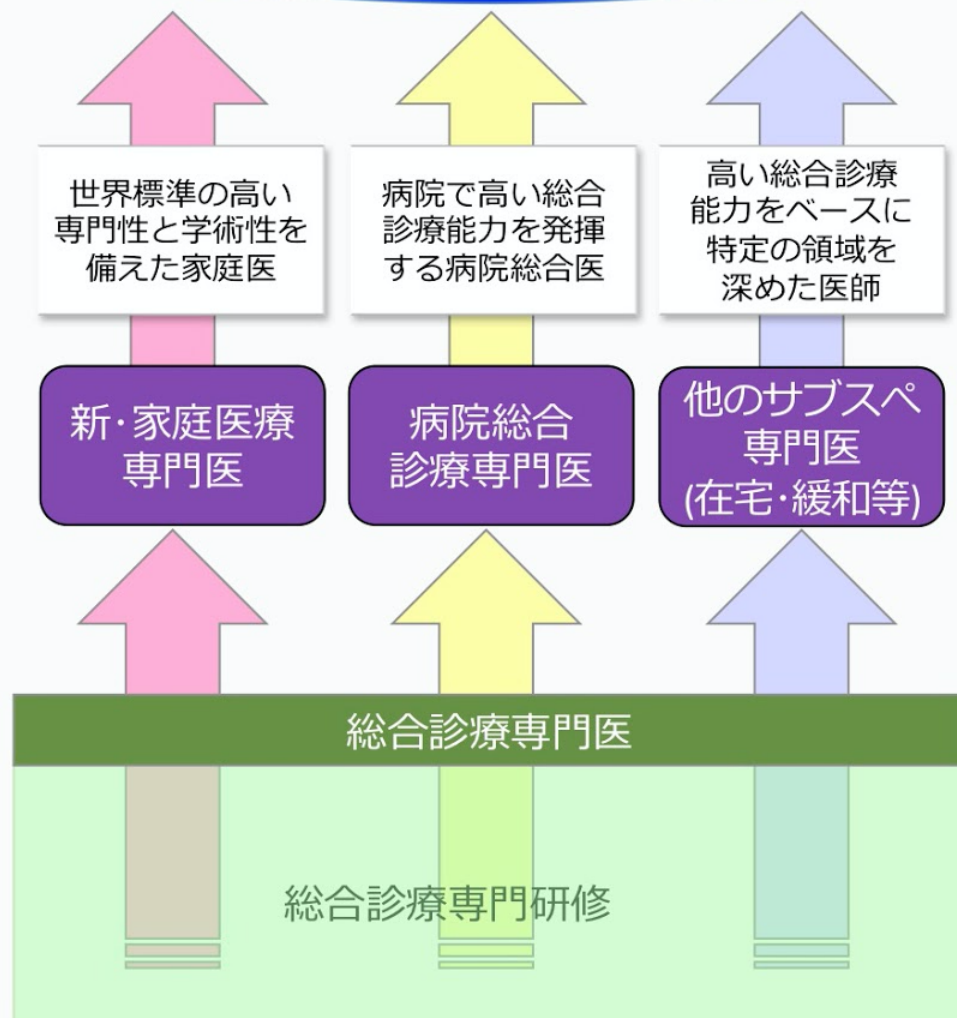
■ 名瀬徳州会病院（僻地・総合診療Ⅱ）

鹿児島県奄美大島に位置する270床の中規模病院。離島研修を全国から受け入れている、初期研修医も多数ローテーション研修している。当院にも来てくれている平島先生の所属。過去に3名ほど派遣しています。



離島や半島での診療経験

多様で将来性のある キャリア



本学会が提供する
若手医師のための
新たなキャリアパス

基本方針

- ・プライマリ・ケアを実践する人材を数多く養成するために、教育効果の高い研修プログラムを提供し、多様で将来性のあるキャリア形成を支援する
- ・プライマリ・ケア領域の発展に貢献できる高い能力を持つ人材を養成する
- ・日本専門医機構が運営する総合診療専門医制度に積極的に協力する
- ・プライマリ・ケアに関連する各種学会、団体、協議会、行政等と緊密に連携する

専門医機構のプログラムとJPCAの新・家庭医療専門医の2つがある

栃木医療センター 新・家庭医療専門研修プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	【内科】 栃木医療センター内科[J-OSLER期間]									【小児科】 栃木医療センター 小児科		
2年目	【総合診療Ⅰ】 宇都宮協立診療所・生協ふたば診療所 ひばりクリニック						【総合診療Ⅱ】 獨協日光医療センター・利根中央病院 名瀬徳州会病院・県立宮古病院 健育会西伊豆病院					
3年目	【救急】 済生会宇都宮病院 救命センター			【総合診療Ⅱ】 栃木医療センター内科						【内科】 栃木医療センター内科 [J-OSLER期間]		
4年目	【総合診療Ⅰ】 2年中12か月研修 宇都宮協立診療所・生協ふたば診療所 ひばりクリニック											
5年目	【選択研修期間】 病院総合診療・精神科・皮膚科・整形外科・集中治療等自由選択											

- ・ 機構のプログラムに総合診療研修Ⅰ（診療所）を追加することで取得可能
- ・ 3 + 2年で取得可能だが、最短で1年追加でも取得は可能

WONCA国際認証を受けたプログラム

- この国際認証制度は、WONCA（世界家庭医機構）が、WFME（世界医学教育連盟）が定める卒後医学教育グローバルスタンダードに基づいて、家庭医学研修プログラムを対象として制定したものです。
- 2019年10月に、WONCAから派遣された評価員によるサイトビジットを受け、2020年4月27日に、WONCA評価委員会での協議を経て、正式に承認を得ました。



新・家庭医プログラムがお勧め

栃木医療センター総合診療PGの ミッション/ビジョン/バリュー

ミッション

- ひとりの総合診療医として生涯学習を続け、患者/家族/地域を診る

ビジョン

- 総合診療医のコンピテンシーを学ぶ
- 総合診療専門医を取得する

バリュー

- 誰もが心身共に豊かに成長できる場
- 学年や立場に関係なく学び合う姿勢

家庭医療・総合診療のコンピテンシー

包括的統合アプローチ

未分化で複数の問題
健康増進・予防医療
多疾患併存
複雑困難事例
リハビリテーション
人生の最終段階のケア

一般的な健康問題に対する 診療能力

一般的な症候・疾患への評価、
マネジメント
適切な初期対応
慢性疾患のケア

患者中心の医療・ケア

患者中心の医療の方法
家族志向のケア
ライフステージを考慮
EBMを実践、意思決定支援

連携重視のマネジメント

多職種チーム全体で臨む
リーダーシップ
他の医療機関・介護との連携
診療の質の向上

地域志向アプローチ

地域の保健・医療・介護に参画
地域ニーズに応じた診療の継続や
貢献
脆弱な集団のケア、SDHを考慮
Advocaterとして行動

公益に資する職業模範

自己研鑽
教育・研究者で家庭医療発展に貢献
倫理的事例に合理的に意思決定

多様な診療の場 に対応する能力

外来・救急・病棟・在宅

新家庭医療専門医 ルーブリック

未分化な健康問題	障害とリハビリテーション	複雑困難事例のケア
予防医学と健康増進	臨床における教育と指導	統合されたケア
慢性疾患のケア	EBMの実践	高いプロフェッショナリズムに基づく行動
多疾患併存	チーム医療・ケアの調整や移行	倫理的に困難な意思決定を伴う事例のケア
長期的な全人的関係に基づくケア	システムに基づく診療	セクシャルヘルス/性を考慮したケア
患者中心の医療	メンタルヘルス	思春期のケア
家族志向のケア	健康の社会的決定要因とアドボカシーおよびアクセス	緩和ケア
地域志向のプライマリ・ケア	医療者自身のケア	人生の最終段階におけるケア

当院プログラムでの取り組み

PFエントリー項目	2022年度	2023年度	2024年度
1. 未分化な健康問題			火曜朝レクチャー
2. 予防医学と健康増進	コアレクチャー（行動変容/予防医療）	コアレクチャー（行動変容）	火曜朝レクチャー
3. 慢性疾患のケア		慢性疾患コアレクチャー	
4. 多疾患併存		マルモカンファ	火曜朝レクチャー
5. 長期的な全人的関係に基づくケア	コアレクチャー（Longitudinality）	コアレクチャー（Longitudinality）	火曜朝レクチャー
6. 患者中心の医療			
7. 家族志向のケア	松下先生PF合宿		
8. 地域志向のプライマリ・ケア		コアレクチャー（COPC）	
9. 障害とリハビリテーション	コアレクチャー（介護保険）	コアレクチャー（ICF）	火曜朝レクチャー
10. 臨床における教育と指導		コアレクチャー（教育）	
11. EBMの実践	青島先生EBMレクチャー	青島先生EBMレクチャー	青島先生EBMレクチャー
12. チーム医療・ケアの調整や移行	コアレクチャー（移行期ケア/退院調整）	コアレクチャー（移行期ケア）	
13. システムに基づく診療			
14. メンタルヘルス		精神科カンファ（月1）	精神科カンファ（月1）
15. 健康の社会的決定要因とアドボカシーおよびアクセス	栃木・群馬合同合宿		
16. 医療者自身のケア	コアレクチャー（医療者自身のケア）	コアレクチャー（ワークライフバランス）	
17a. 複雑困難事例のケア			火曜朝レクチャー
17b. 統合されたケア			
18a. 高いプロフェッショナリズムに基づく行動	コアレクチャー	コアレクチャー	コアレクチャー
18b. 倫理的に困難な意思決定を伴う事例のケア	院内臨床倫理チーム	院内臨床倫理チーム	院内臨床倫理チーム
19a. セクシャルヘルス/性を考慮したケア			ポートフォリオ合宿（LGBTQ）
19b. 思春期のケア			
20a. 緩和ケア		PEACE受講推奨	PEACE受講推奨
21b. 人生の最終段階におけるケア	EFIELD院内勉強会	EFIELD院内勉強会（年2）	EFIELD院内勉強会（年2）

当院の定期カンファ

① 合同家庭医療カンファ（火曜 18:00-19:00）

- ・ コアレクチャー
- ・ ビデオフィードバック
- ・ 院内ポートフォリオ発表

② 院内プロテクトタイム（金曜 14:00-17:15）

- ・ 振り返り/外来症例FB/臨床推論カンファ
- ・ 専攻医common diseaseレクチャー
- ・ J-Osler作成支援
- ・ 隔月：フィジカルラウンド/EBM勉強会

③ 内科全体カンファレンス（火曜 8:15-45）

- ・ 症例検討/各科のレクチャー等

④ 論文抄読会（水曜 12:00-13:00）

⑤ 志水先生論文ミーティング（火曜 17:30-）

⑥ プログラム連携勉強会（年3-4回）



① 合同家庭医療カンファ

【目的】

- ・ 家庭医療学の学びを深める
- ・ 専攻医にとって戻れる“ホーム”
- ・ 総合診療PGとして必須の評価を実施する



【対象】

- ・ 専攻医全員（他院出向中も含む）/隔週で実施

【内容と方略】

- ① コアレクチャー：専攻医 2 年目以上とスタッフ担当
- ② ビデオフィードバック：年 2 回/人担当、外来の様子をFB
- ③ ポートフォリオ発表：年 2 回/人程度

Zoom開催：

<https://us02web.zoom.us/j/94577837776?pwd=Q25xSUN1TXkza3gvanVlZmhLTjQ09>

Mini-CEX/CbDを用いて評価を行う

②院内プロテクトタイム



【目的】

- ・ 心理的安全性のある環境での振り返り
- ・ common diseaseの学びを深める
- ・ 外部講師から身体診察・EBM等を学ぶ

【対象】

- ・ 専攻医全員（院内研修中メイン）14:00以降は業務フリー

【内容と方略】

- ①個別振り返り（16:00-）：モヤモヤ・悩み・相談等
PFの種を検討する会
- ②外来振り返り（14:00-）：山口医師と外来・救急症例/CbD
- ③J-Osler記載（14:00-）：適宜記入する
- ④青島先生EBM勉強会：隔月全6回（文献検索/論文読み方）
- ⑤平島・マツケンフィジカルラウンド：隔月全6回
- ⑥外部講師講演会（2023年は大杉先生・大浦先生）

青島先生EBM勉強会

【概要】

- 中野病院の薬剤師
- EBM領域では有名人で多くの論文を読み情報発信をしている
- 薬剤師の地域医療日誌http://blog.livedoor.jp/ebm_info/
- 論文を読みながらEBMの基礎を教わる 1 年間

【時間】 隔月金曜 15:30- 2時間程度

【内容】

- 臨床疑問から論文検索へ
- ランダム化比較試験の読み方
- コホート試験の読み方
- 症例対照研究の読み方
- システマティックレビューの読み方



平島・マツケンフィジカルラウンド

【概要】

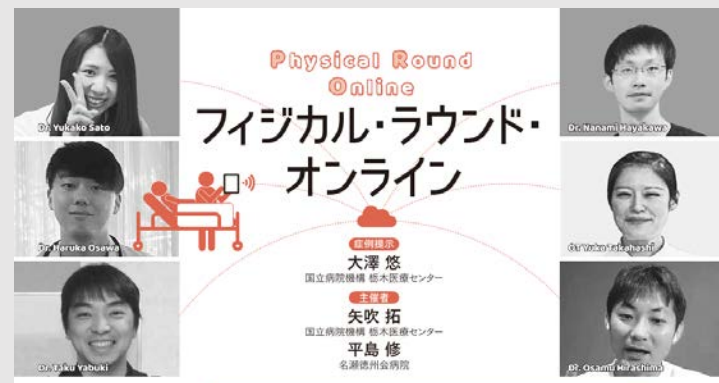
- ・ 臨床推論のマツケン先生とフィジカルの平島先生と
臨床推論・フィジカルを学ぶ勉強会

【時間】

- ・ 隔月金曜 15:00- 2時間程度

【内容】

- ・ 専攻医が1例事例提示
- ・ 皆で臨床推論で十分検討する
- ・ その後、ベッドサイド回診
- ・ 事後で振り返り・学習
- ・ 年1-2回はスピンオフ的な
「臨床動画クラブ」を開催



③内科全体カンファレンス

【概要】

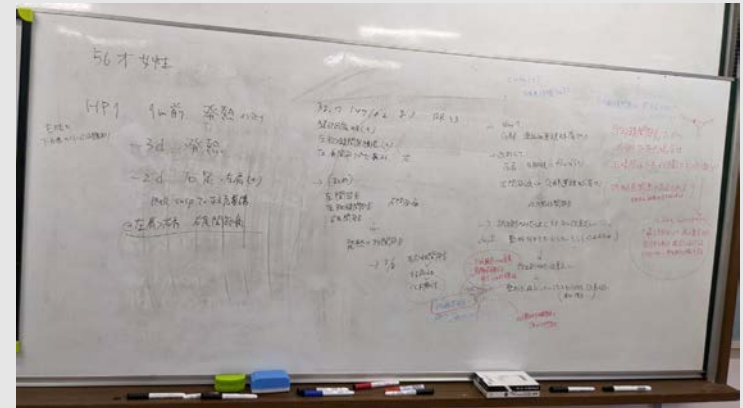
- ・毎週朝に内科全体が集まるカンファレンス
- ・チームが違うメンバーも全員顔を合わせる貴重な機会

【時間】

- ・毎週火曜 8:15-45@第二医局

【内容】

- ・ケースカンファ：臨床推論
- ・レクチャー：専門科やトピックなど
- ・学会発表がある場合は予演会



Zoom :

<https://us02web.zoom.us/j/87851950069?pwd=LqPObebcRKnArhzEmRHfown6YTV8Du.1>

④論文抄読会/CQカンファ

【概要】

- ・ 毎週火曜昼に行う論文抄読会 & CQカンファ
- ・ 主要医学ジャーナルの主な最新情報が共有される

【時間】

- ・ 毎週水曜 12:00-13:00

【内容】

- ・ NEJM/BMJ/JAMA等の最新論文から厳選
- ・ 基本的には耳学問
- ・ 自分で読んだ論文も共有可能
- ・ Dropbox内で論文共有



Zoom :

<https://us02web.zoom.us/j/91829442802?pwd=MGhRSERdiZitVOWM3Ni9hbWlVTVVndz09>

⑤志水先生論文ミーティング

【概要】

- ・ 毎月 1 回獨協医大の志水太郎先生の論文指導
- ・ 症例段階から相談し、学会発表・論文化を目指す

【時間】

- ・ 毎月第四火曜（予定） 17:30-18:30

【内容】

- ・ 検討したい症例を持ち寄る
- ・ 症例を参加者で検討し学びポイントを抽出
- ・ 学会発表・論文化を目指す
- ・ 毎回宿題があり次回まではSNSでやりとり

Zoom開催：

<https://us02web.zoom.us/j/9820369698>



⑥ポートフォリオ発表会・合宿

■概要：

- 栃木県内の総合診療専門医プログラム（旧PC学会家庭医療専門医プログラムver.2）のプログラムがある、自治医大総合診療科、獨協医大総合診療科、済生会宇都宮病院、当院などが集まって年3-4回程度行っているポートフォリオの発表会
- レクチャー後に発表×人数分という形式

■時間：年3-4回程度、本年度未定

■場所：自治医大 or 当院

■準備：

- ポートフォリオを1個作成
- 企画側に回ることも可



一緒に学びあい、成長し合う仲間を募集しています
気軽にご連絡ください



職員宿舎・院内保育園完備



連絡先 栃木医療センター 内科・総合診療プログラム管理委員会 tmcnaika@gmail.com
電話 028-622-5241 (代表) FAX 028-625-2718 事務 管理課職員係 築島愛果